

(株)SRA ホールディングス 代表取締役社長の鹿島です。

本日、2019 年3月期決算を発表しました。併せて下記についても発表しました。

◎「2019 年3月期通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」

◎「剰余金の配当(増配)に関するお知らせ」

◎「中期経営計画(2019 年度～2021 年度)の策定に関するお知らせ」

また、「決算付属資料」、「2019 年4月 月次売上高速報」も発表しました。

詳細は発表資料をご覧ください。 <https://www.sra-hd.co.jp/news/?Year=2019>

(1) 2019 年3月期(2018 年度)業績

◎前年比

売上高:増収(全セグメントで増収)

収益:粗利益が増益。営業利益、経常利益、当期純利益は減益

◎業績予想比

営業利益、当期純利益が予想値を下回ったものの、売上高と経常利益は予想値を上回る

■配当金

経常利益が業績予想値を上回り、税金等調整前当期純利益も前期を上回ったことから、株主還元のためさらなる充実を図ることを目的に、配当予想(2018 年5月 10 日発表)に対し、期末配当金を1株当たり5円増配の 70 円(普通配当)とし、年間配当金を 110 円(普通配当 110 円、配当性向 67.0%)としました。

(2) 2020 年3月期(2019 年度)業績予想

2019 年度は、2019 年度～2021 年度の中期経営計画の最終年度目標達成に向けた、成長戦略推進のための基盤づくりの年と位置づけております。

◎売上高 417 億円、営業利益 45 億円、経常利益 46 億円、当期純利益 25 億円、

1株当たり当期純利益 202.65 円

◎配当金…株主還元のためさらなる充実を図るべく、従来通り配当性向 50%を目処に、[安定的な高配当]を目指す

・1株当たり配当金=110円(普通配当 110円、中間配当:40円、期末配当:70円)を計画

配当性向 54.3%を予想

(3) 2019 年3月期 業績(連結)前年比

◎売上高: 407 億 93 百万円(3.5%増) 全セグメントで増収

主な要因

- ・開発事業(1.2%増): 製造業向けが増加
- ・運用・構築事業(7.5%増): 企業向けおよび大学向けがいずれも増加
- ・販売事業(6.0%増): (株)AIT の機器販売が増加

◎粗利益: 90 億 86 百万円(6.7%増)

◎粗利益率:22.3%(前年 21.6%)

主な要因:利益率向上施策により粗利益が増加

◎営業利益:40億78百万円(2.3%減) 営業利益率:10.0%(前年 10.6%)

主な要因:海外子会社の研究開発費および販売費の計上による販管費の増加

◎経常利益:44億69百万円(6.2%減) 経常利益率:11.0%(前年 12.1%)

主な要因:前年度は営業外収益(持分法適用会社における一過性の利益)を計上、為替の影響

◎当期純利益:20億23百万円(1.8%減)

主なプラス要因:[特別利益の増加]投資有価証券売却益

[特別損失の減少]前年度は訴訟関連損失(特別損失)を計上

主なマイナス要因:法人税等の増加

<発表資料> <http://www.sra-hd.co.jp/ir>

[2019年4月 月次売上高]

(株)SRA、(株)AIT、国内子会社、海外子会社＝立ち上がりが遅い会社があるものの、いずれも堅調に進捗

<発表資料> http://www.sra-hd.co.jp/ir/ir-news/index_2019.html

今年度も足元の状況をお知らせすべく、「月次売上高速報」は引き続き、毎月、皆様に公開してまいります。

2018年度決算では、税引後の当期純利益について、税法上の取り扱いと会計上の取り扱いの違いについて

監査法人に確認するのに時間が掛かったこともあり、業績予想と実績値との差異についてのお知らせが

同日となりました。

「良い情報はもとより、悪い情報もいち早く公開する」という当社のスタンスに変わりはありません。

皆様には、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。